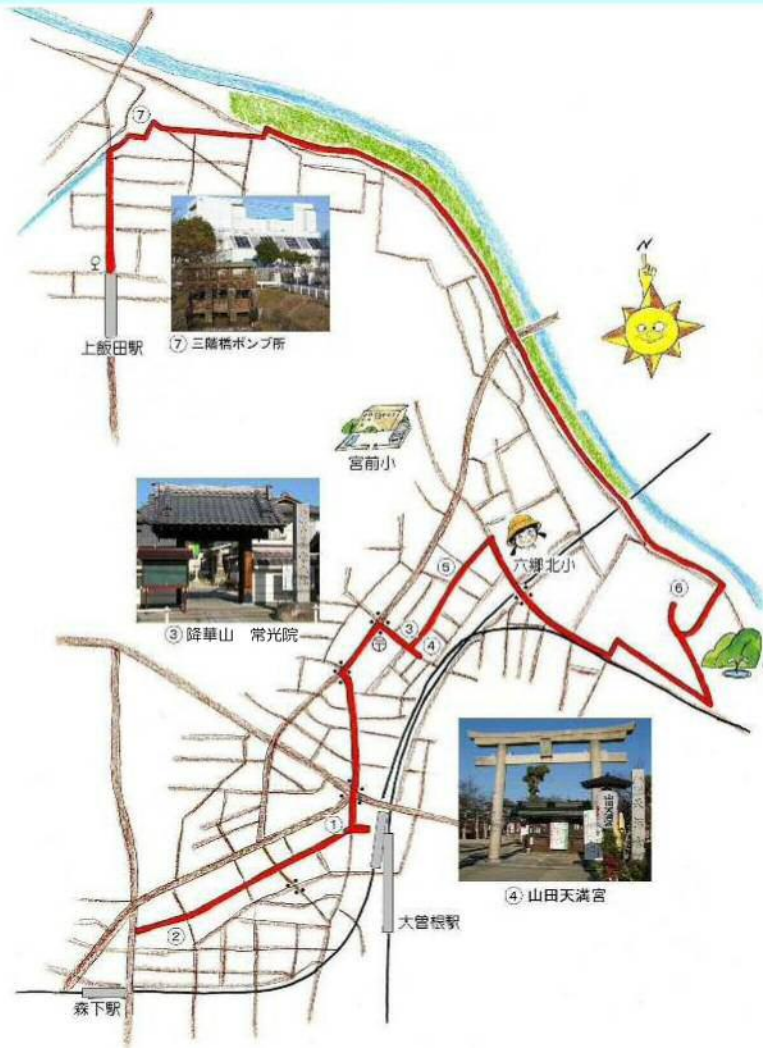


### 3 山田の庄散策コース 約 4.8km

大曾根、その往来びとが偲ばれる善光寺街道道標。山田村鎮守であった山田天満宮と金神社。山田の荘一族の館のあったあたりをめぐって長母寺へ。往時を偲びつつ矢田川河川敷を経て、伏越樋の三階橋ポンプ所までの散策路。



大曾根、その往来びとが偲ばれる善光寺街道道標。山田村鎮守であった山田天満宮と金神社。山田の荘一族の館の

#### ① 善光寺街道道標

かつて大曾根の追分に建っていた道標で、木曾に通じる善光寺街道と、飯田に通じる飯田街道との分岐点を示している。



#### ② 大曾根地区商店街

「尾張名所図会」に名古屋城下、北の唯一の関門として、陶器、生糸、木綿糸などの集散地として賑わった情景が記されている。その大曾根の集約ともいべき大曾根地区商店街は、大曾根商店街（西地区）がOZモールへ、大曾根本通商店街（東地区）がオゾンアベニューへと生まれ変わり、オズガーデン(地下街)も誕生した。

#### ③ 降華山 常光院

もとは長久寺の念仏堂として草庵を結んだ。たび重なる洪水に苦しんだ里人たちの信仰に支えられて栄えた。

#### ④ 山田天満宮・金神社

尾張二代藩主徳川光友が、菅原道真を神霊としてまつたもので、藩の学問祈願所であった。山田天神といい、矢田川天神橋の名もここに由来する。金神社は、古くは山田村の鎮守。昭和58年に山田天満宮へ合祀された。



金神社

#### ⑤ 山田次郎重忠舊里の碑

承久の乱で勤皇の雄として武勇をとどろかし、後に、山田の荘を治めた山田次郎重忠の館は以前に金神社のあったこのあたりにあったといわれる。その舊里の碑が残されている。



#### ⑥ 靈鷲山 長母寺

山田次郎重忠が、母のために創建したものである。後年再建され無住国師を開山とした。重文「無住国師等身木坐像」市指定文化財「沙石集」版木がある。



#### ⑦ 三階橋ポンプ所・矢田川伏越樋

矢田川底を伏越して三階橋付近に大きな貯水池をつくり、ここから庄内用水・黒川・御用水に分流した。なお、この貯水池は、「天然プール」の愛称で親しまれたが、昭和53年名古屋市下水道局の「三階橋ポンプ所」の建設で埋め立てられた。

200m 地下鉄 大曾根駅 → ①善光寺街道道標 → ②大曾根地区商店街 → ③降華山 常光院 → ④山田天満宮 ・金神社 → ⑤山田次郎重忠舊里の碑 → ⑥靈鷲山 長母寺 → ⑦三階橋ポンプ所 ・矢田川伏越樋 → 地下鉄 上飯田駅